PART1 安・悪・焉

一 「文頭形」

⑦ **安・悪・焉**＝
- **いづクニカ〜／（どこに〜か）**
- **いづクンゾ〜／（どうして〜か）**

（例）**安**所(アラン)レ得(ル)レ酒(ヲ)乎(や)。　〔酒を得る所あらんや。〕

（どこに酒を手に入れるところがあるだろうか、いや、ない。）

燕雀(えんじやく)**安**知(ラン)二鴻鵠(こうこく)之志(ヲ)一哉(や)。　〔燕雀　鴻鵠の志を知らんや。〕

（燕や雀などの小鳥が　鴻鵠〔＝白鳥のような大きな鳥〕の志がわかるだろうか、いや、わからない。）

⇔

【小人物には大人物の心はわからない】

〈Memo〉

第12講　PART1　確認問題

① 「君安与二*項伯一有レ故。」は、「君はどうして項伯（こうはく）と縁故があるのか。」という意味である。傍線部の読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊項伯…人名。

ア　やすくして　　イ　やすくんぞ
ウ　いづくんぞ　　エ　いづれか

② 「*沛公安（クニカ）在（ル）。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊沛公…人名。

ア　沛公（はいこう）はどこにいるのか。
イ　沛公はどこにもいない。
ウ　沛公はどこかにいるはずだ。
エ　沛公はどこにいてもよい。

③ 「君子ハ去リテレ仁ヲ、悪クニカ乎成サンレ名ヲ。」の傍線部の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　君子としての名誉を求めるなら、人を憎んではいけない。
イ　君子としての名誉を求めることは、愚かなふるまいである。
ウ　必ず君子としての名誉を成り立たせなければならない。
エ　どこに君子としての名誉が成り立とうか、いや、成り立たない。

④ 「焉知二*来者之不レ如レ今也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊来者…将来性のある人。

ア　焉くして来者の今に如かざるを知らず。
イ　焉くんぞ来者の今に如かざるを知らんや。
ウ　焉くんや来者の今に如かざるを知るなり。
エ　焉くにか来者の今に如かざるを知る。

⑤ 「焉クンゾ有リテ二仁人在ルレ位ニ、*罔スルヲレ民ヲ而可ケンレ為ス也。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

＊罔（あみ）…網。刑罰という網に追い込む。

ア　仁の心を持った人が位に即いていながら、人民を刑罰という網に追い込むようなことはしてはならない。
イ　仁の心を持った人が位に即けばば、人民を刑罰という網に追い込むはずである。
ウ　仁の心を持った人が位に即いても、人民を刑罰という網に追い込むようなことはなくならないだろう。
エ　仁の心を持った人が位に即いたので、人民を刑罰という網に追い込むようなことはなくなるかもしれない。

第12講　PART1　解答

一

⑦

〔**安くにか**酒を得る所あらんや。〕

〔燕雀**安くんぞ**鴻鵠の志を知らんや。〕（燕や雀などの小鳥が**どうして**鴻鵠の志がわかるだろうか、〜）

第12講　PART1　確認問題　解答

〔解説〕

① 「安」は疑問・反語の句形で用いられるときは「いづクニカ〜」と読んで「どこに〜か」、「いづクンゾ〜」と読んで「どうして〜か」という意味になる。よって、ウが正解。

② 「安くにか〜」は「どこに〜か」という意味。よって、アが正解。

③ 「悪くにか〜」は疑問・反語の句形で「どこに〜か」の意味。「どこに〜か。いや、〜ない」と反語で訳す。よって、エが正解。

④ 「焉」は文頭に置かれて「いづクンゾ〜」と読み、疑問・反語を表す。よって、イが正解。

⑤ 「焉くんぞ〜」は疑問・反語の句形で「どうして〜か」の意味。設問文を直訳すると「どうして仁の心を持った人が位に即いていながら、人民を刑罰という網に追い込むようなことをしてよいだろうか、いや、してはならない。」となる。この訳に最も近いのはア。よって、アが正解。

〔解答〕

① ウ　② ア　③ エ　④ イ　⑤ ア